

## 熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領

### 1 目的

近年の夏季における猛暑日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に掛かる経費に関して、現場管理費の補正の試行を行うため、実施に当たり必要な事項を定める。

### 2 用語の定義

#### (1) 真夏日

日最高気温が 30℃以上の日をいう。

ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が 30℃以上の場合とする。

#### (2) 対象工期

工事の始期から工期末の 20 日前（後片付け期間含む）までとする。

なお、年末年始 6 日間、夏季休暇 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は対象外とする。

#### (3) 真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

真夏日率 = 対象工期期間中の真夏日数 ÷ 対象工期

真夏日率は小数点以下 3 位を四捨五入して 2 位止めとする。

### 3 対象工事等

#### (1) 対象工事

主たる工種が屋外作業である工事（災害復旧工事を含む。）を対象とする。

#### (2) 対象地域

鳥取県内全域を対象とする。

### 4 積算方法等

#### (1) 補正方法

現場管理費の補正は、工期中の日最高気温の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費率に加算する。補正は変更契約において行う。

なお、「緊急工事の場合」と重複する場合においても最高 2% とする。

補正値 (%) = 真夏日率 × 補正係数\*

※補正係数：1.2

補正値 (%) は小数点以下 3 位を四捨五入して 2 位止めとする。

#### (2) 現場管理費

対象純工事費 × ((現場管理費率 × 補正係数) + 補正値)

### 5 気温の計測方法等

#### (1) 計測方法

受注者は、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載する。

施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の

暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。WBGT を用いる場合は、WBGT が 25℃以上となる日を真夏日と見なす。

ただし、これによりがたい場合は、施工現場を代表する 1 地点で気象庁の気温計測方法に準拠した方法により得られた計測結果を用いることも可とする。

なお、計測に要する費用は受注者の負担とする。

(2) 計測結果の報告

受注者は、施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の 14 日前までに提出する。

**6 対象工事である旨等の明示**

熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事の対象とし、日最高気温の状況に応じた現場管理費の補正を行う対象工事である旨等を現場説明書等に明示するものとする。

**7 施工箇所点在型への適用**

施工箇所点在型工事については、点在する箇所毎に補正を行うことができるものとする。

**8 その他**

上記の取扱いについて、地域の実情等により、対応が困難な場合については、これらに寄らないことができる。

附則

この要領は、令和元年 6 月 12 日から施行する。

この要領は、令和 5 年 4 月 10 日から施行する。